

企業環境の革命と必要性

黒田インターナショナル

黒田 毅

新しい企業環境への転換は就業基準と環境における革命を提案できる。これら作業効率性の向上を機能性と共に実現できるためである。

テレワークやテレビ会議は、その実用性において、新しい企業環境を可能とできるものである。これは、作業環境が、全体としての共同行動でなく、分業という環境を提案できる。

これらはアウトソーシングにおけるコスト効率性の効率とともに、IT システムにおける企業の総括と共に、フレキシブルな環境を提案できるものである。

これら柔軟性は新しい創造活動を企業が自己とすることを提案するものである。これらはGAFAMなどの企業環境の許容において自己環境を整備することができるのである。

既存性から自主的な企業環境への転換は、その効率性の向上とともに、企業の変化を提案できる。

これらは時代変化への参加として提案するものである。これらは柔軟性と効率性における企業の革命を行うものである。

既存環境からの変化は、大幅な企業基準の転換を求められるものであるが、その効率性の大幅な向上は、企業における明確な決定を要求したい。

これら企業のIT化は、大幅な効率性の向上を行うことにおいて明確な理解と判断を求められるものである。

これら企業システムにおける企業経営への変化は、そのフレキシブルな就業環境と共に時代先端性への到達を可能とできるのである。